



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 大阪瓦斯株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 9532 URL <https://www.osakagas.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本荘 武宏  
 問合せ先責任者(役職名) 財務部連結管理チームマネージャー (氏名) 能村 一成 (TEL) 06-6205-4537  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	974,503	3.3	54,286	132.8	59,396	133.1	34,800	569.2
2019年3月期第3四半期	943,610	3.7	23,321	△52.0	25,481	△49.4	5,200	△83.6

(注) 包括利益2020年3月期第3四半期 9,637百万円( 41.6%) 2019年3月期第3四半期 6,806百万円( △86.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 83.70	円 銭 —
2019年3月期第3四半期	12.51	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,125,545	1,022,978	46.7
2019年3月期	2,029,722	1,035,044	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 992,544百万円 2019年3月期 1,004,340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,419,000	3.4	84,000	23.6	81,000	28.4	51,000	51.8	122.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	416,680,000株	2019年3月期	416,680,000株
2020年3月期3Q	891,903株	2019年3月期	867,201株
2020年3月期3Q	415,802,880株	2019年3月期3Q	415,836,312株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2020年1月31日に機関投資家及びアナリスト向けの電話会議を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,131,000	2.4	46,000	64.6	56,500	39.3	43,000	71.0	103.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (四半期経営成績等の概況)

当第3四半期の売上高は、ガス事業で原料費調整制度に基づき販売単価が高めに推移したことや、電力事業で電力販売量が増加したことなどにより、前年同期に比べて308億円増の9,745億円となりました。経常利益は、ガス事業での原料価格の変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる増益影響(\*)やガス事業費用の減少等により、339億円増の593億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、296億円増の348億円となりました。

(\*)原料価格の変動が原料費調整制度に基づく販売単価に反映されるまでには一定の時間差があるため、一時的な増減益要因となります。

当第3四半期は一時的な増益要因、前年同期は一時的な減益要因となっております。

(単位：億円)

	連結(a)	対前年同期比較		個別(b)	連単倍率 (a)/(b)
		増減値	増減率(%)		
売上高	9,745	+308	+3.3	7,720	1.26
売上原価	6,903	+29	+0.4	5,633	1.23
供給販売費及び 一般管理費	2,298	△30	△1.3	1,805	1.27
営業利益	542	+309	+132.8	282	1.92
経常利益	593	+339	+133.1	399	1.49
親会社株主に帰属す る四半期純利益(*)	348	+296	+569.2	310	1.12

(\*)個別は「四半期純利益」

## (四半期ガス販売実績)

		当四半期(a) (2019/4~2019/12)	前年同期(b) (2018/4~2018/12)	増減値 (a)-(b)	増減率(%)	
個別	ガス供給件数(千件)	5,287	5,626	△339	△6.0	
	ガス販売量 (百万m <sup>3</sup> )	家庭用	1,077	1,105	△28	△2.5
		業務用等	4,114	4,471	△357	△8.0
		計	5,191	5,576	△385	△6.9
連結ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )		5,220	5,602	△381	△6.8	

[45MJ/m<sup>3</sup>表示]

## (四半期国内電力販売実績)

		当四半期(a) (2019/4~2019/12)	前年同期(b) (2018/4~2018/12)	増減値 (a)-(b)	増減率(%)
低圧電気供給件数(千件)		1,241	857	+384	+44.8
電力販売量 (百万kWh)	小売	3,137	2,299	+838	+36.5
	卸等	6,268	6,203	+65	+1.0
	計	9,405	8,502	+903	+10.6

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、2兆1,255億円となり、前期末と比較して958億円の増加となりました。これは主として、海外投資案件の取得等により固定資産が増加したことによるものです。

なお、純資産は1兆229億円となり、自己資本比率は46.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえた結果、2020年3月期の業績予想に変動が生じることになったため、下表の通り連結及び個別の業績予想を修正します。大阪ガス個別の電力事業において、電力販売量が増加することにより、個別、連結とも売上高は前回業績予想を上回る見通しです。一方で、同事業において秋や冬の高気温等による減益影響があり、個別、連結とも営業利益は前回業績予想を下回る見通しです。経常利益については、ガス事業費用の減少や投資有価証券売却益の計上等により、個別、連結とも前回業績予想から変更はありません。当期純利益については、個別は前回業績予想から変更はありませんが、連結は上流事業での減損損失により、前回業績予想を下回る見通しです。

2019年10月29日付の「2020年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました、2020年3月期の連結及び個別の業績予想との差異は以下の通りです。

## 2020年3月期の連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,412,000	85,000	81,000	55,000	132.27
今回修正予想 (B)	1,419,000	84,000	81,000	51,000	122.66
増減額 (B-A)	+7,000	△1,000	±0	△4,000	
増減率 (%)	+0.5	△1.2	±0.0	△7.3	
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,371,863	67,977	63,103	33,601	80.80

(参考)

## 2020年3月期の個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,124,000	47,000	56,500	43,000	103.41
今回修正予想 (B)	1,131,000	46,000	56,500	43,000	103.41
増減額 (B-A)	+7,000	△1,000	±0	±0	
増減率 (%)	+0.6	△2.1	±0.0	±0.0	
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,104,537	27,946	40,553	25,139	60.45

< 原油価格・為替レート的前提 (2020年1月～2020年3月) >

原油価格 (全日本C I F 価格) : 65ドル/バレル

為替レート (TTM) : 110円/ドル

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
製造設備	85,086	84,476
供給設備	265,421	262,299
業務設備	55,176	54,499
その他の設備	427,821	521,168
建設仮勘定	74,222	66,678
<b>有形固定資産合計</b>	<b>907,728</b>	<b>989,122</b>
無形固定資産	109,297	104,962
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	359,737	340,684
その他	121,326	130,417
貸倒引当金	△562	△878
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>480,502</b>	<b>470,224</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,497,528</b>	<b>1,564,309</b>
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	116,289	138,940
受取手形及び売掛金	219,206	205,010
たな卸資産	112,327	125,527
その他	86,061	92,361
貸倒引当金	△1,691	△603
<b>流動資産合計</b>	<b>532,194</b>	<b>561,236</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,029,722</b>	<b>2,125,545</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
社債	144,989	299,993
長期借入金	367,418	371,604
ガスホルダー修繕引当金	1,247	1,355
保安対策引当金	11,207	10,100
器具保証引当金	12,454	9,935
退職給付に係る負債	17,228	17,456
その他	86,919	108,955
固定負債合計	641,465	819,401
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,087	54,878
その他	287,125	228,286
流動負債合計	353,212	283,165
負債合計	994,678	1,102,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	132,166	132,166
資本剰余金	19,222	19,483
利益剰余金	782,523	795,317
自己株式	△1,744	△1,794
株主資本合計	932,167	945,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,617	55,690
繰延ヘッジ損益	△4,007	△22,028
土地再評価差額金	△737	△737
為替換算調整勘定	11,189	1,228
退職給付に係る調整累計額	15,110	13,218
その他の包括利益累計額合計	72,172	47,370
非支配株主持分	30,704	30,434
純資産合計	1,035,044	1,022,978
負債純資産合計	2,029,722	2,125,545



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	943,610	974,503
売上原価	687,417	690,350
売上総利益	256,193	284,152
供給販売費及び一般管理費	232,872	229,865
営業利益	23,321	54,286
営業外収益		
受取利息	414	1,373
受取配当金	4,088	6,774
持分法による投資利益	2,287	4,029
雑収入	5,432	5,741
営業外収益合計	12,222	17,918
営業外費用		
支払利息	7,266	9,077
雑支出	2,796	3,730
営業外費用合計	10,062	12,808
経常利益	25,481	59,396
特別損失		
減損損失	—	4,495
災害による損失	2,019	—
のれん償却額	8,901	—
特別損失合計	10,921	4,495
税金等調整前四半期純利益	14,559	54,901
法人税等	6,696	18,736
四半期純利益	7,863	36,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,663	1,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,200	34,800

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,863	36,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,455	3,822
繰延ヘッジ損益	△229	△6,166
為替換算調整勘定	△20	△8,282
退職給付に係る調整額	1,377	△1,839
持分法適用会社に対する持分相当額	7,270	△14,062
その他の包括利益合計	△1,057	△26,527
四半期包括利益	6,806	9,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,961	8,778
非支配株主に係る四半期包括利益	2,844	858

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 2018年9月14日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 2018年9月14日)(以下「実務対応報告第18号等」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、在外子会社等において国際財務報告基準第9号「金融商品」を適用し、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合に、連結決算手続上、当該資本性金融商品の売却損益相当額及び減損損失相当額を当期の損益として修正することとしました。

実務対応報告第18号等の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、四半期連結貸借対照表の第1四半期連結会計期間の期首において、利益剰余金は1,215百万円減少し、その他有価証券評価差額金は1,215百万円増加しております。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内エネルギー・ガス	国内エネルギー・電力	海外エネルギー	ライフ&ビジネスソリューション			
売上高	687,400	131,498	27,002	149,511	995,413	△51,802	943,610
セグメント利益又は損失(△)							
営業利益又は損失(△)	△1,329	5,589	5,608	12,095	21,963	1,357	23,321
持分法による投資利益又は損失(△)	485	△381	2,183	—	2,287	—	2,287
計	△844	5,208	7,792	12,095	24,251	1,357	25,608

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内エネルギー・ガス	国内エネルギー・電力	海外エネルギー	ライフ&ビジネスソリューション			
売上高	691,870	145,435	43,291	156,859	1,037,457	△62,953	974,503
セグメント利益							
営業利益又は損失(△)	34,130	4,875	△442	13,437	52,001	2,285	54,286
持分法による投資利益又は損失(△)	307	△287	4,009	—	4,029	—	4,029
計	34,437	4,587	3,567	13,437	56,030	2,285	58,316